

● 毎年行われている「チューリップまつり」



この「チューリップまつり」は、諸富町の小杭地区内で毎年3月の最後の土曜日から1週間行われています。

今年で14回となり、新型コロナウイルス感染症のご時世にもかわらず諸富町内はもとより、県外からの来観者もあり、心の癒しの場としてたいへんにぎわっています。

7,000本の花々がきれいに咲きそろい訪れた方たちの目を楽しませています。花文字は毎年違った文字が描かれ、今年も新型コロナウイルス感染症の終息を願い明るい未来がきますように「ミライ」の3文字の花文字となっています。「心の癒しとして何回も行きたいまつり」と思います。



● 令和2年度 諸富町老人クラブ連合会行事を振り返って

諸富町老連は、老人クラブの3大運動「健康」「友愛」「奉仕」活動を強化して、楽しい老人クラブへ発展させたいと考えています。今年度は新型コロナウイルス感染症の蔓延により、町老連大運動会、おばあちゃんの発表会をはじめ、ほとんどの行事が出来ませんでした。そのような中でも、大空のもとでのスポーツ行事は、3密を避ける事によりコロナ禍に打ち勝って、力強く実施することができました。特に7月16日、市老連主催、女性部グランドゴルフ大会では、諸富チームの皆さんが、堂々の優勝の栄冠を勝ち取られました。また、文化面では佐賀市高齢者趣味の作品展では、絵画部門で最優秀賞、手芸の部門で優秀賞を受賞されています。



なお、新型コロナウイルス感染症が収束し自由に開催が出来るようになりましたら、全ての行事について今年のを加えてより一層盛大に開催したいと思います。何卒、皆様方のご指導ご鞭撻を賜りますよう、よろしくお願いいたします。

「つながるさがし」

▶ <https://www.tsunasaga.jp/>



「つながる諸富」

▶ <https://www.tsunasaga.jp/morodomi/>



「つながるさがし」は、佐賀市が市民と共に創っていく市民参加型・協働型の地域情報サイト。皆さんも閲覧板を見るような感覚で、サイトにアクセスしてみてください。「つながる諸富」は諸富町の情報です！！

〈広報担当〉

私たちは仲間を募集

皆の力でよりよいまちづくりにしていきたいと考えます。「つながる諸富」のHPや情報誌作成に協力をいただきます。なお、ご意見ご要望もお願いします。

まちづくり協議会メールアドレス machidukurim@yahoo.co.jp

諸富町まちづくり協議会だより

3月
2021

まちづくり協議会は平成24年5月に発足し、今年度で9年となります。
基本理念「笑顔あふれみんなが輝くまち 諸富」



～花吹雪の中、春を感じながら桜並木は賑わいを見せていました～
しかし、今年も残念!!
徐福さくら健康ウォーキングは中止となりました!

令和2年度はコロナ禍で社会が一変し、新しい生活様式を考えていく年となりました。町民が一体となるイベントはほとんどが中止!! 自ら外出を自粛し、楽しみも減少!! 我々住民は地域での活動も制限され、精神的負担も多かったようです。令和3年度は少しでも現状打破ができればと願うところです。

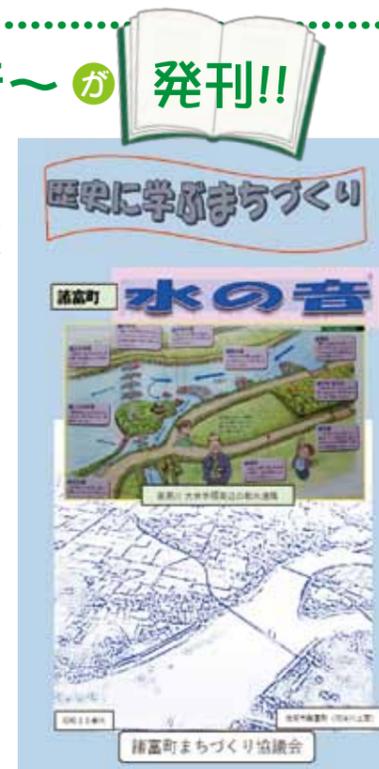
<総会の予定!> 令和3年5月18日(火)コロナ禍により、今年度も縮小し開催予定
～今年度は役員改正の年です 諸富のまちづくりを一緒に考えていきたいですね～

読んで
みませんか?

諸富町 ～水の音～ が 発刊!!

筑後川は地域経済に寄与してきた反面、数々の水害を起こしてきた。そのため諸富町の地形が大きく変わり、当時の「水の音」を思い出すことが困難となった。諸富町のまちづくりをする上では、諸富町のこと、佐賀平野の成り立ちや先人達の水を生かす大型事業などの歴史に学び、生活に必要な水が遠い昔から治水や利水がどのように行われてきたかを知る必要があるのではと思い、この「水の音」の発刊に至った。HPに後日記載予定です。

1. 諸富町の昭和64年史		
(諸富町の主な出来事)		(国内の出来事)
昭和10年 (1935)	国鉄佐賀線全線開通	
昭和13年 (1938)	新北尋常小学校焼失	
昭和20年 (1945)	諸富町大空襲	東京大空襲 玉音放送
昭和28年 (1953)	新北村・東川副村水害	西日本大水害 NHKテレビ放送開始
昭和30年 (1955)	諸富町発足(新北村・東川副村合併)	
	諸富橋・天川橋開通	
昭和31年 (1956)	諸富町役場庁舎完成	国際連合加盟
	諸富町木工組合設立 大中高分校開校	
昭和33年 (1958)	諸富町観光協会設立	東京タワー完成
昭和35年 (1960)	諸富町中央公民館、母子健康センター完成	所得倍増計画
	上水道完成	
昭和36年 (1961)	第1回町民体育大会	
昭和37年 (1962)	諸富中学校発足	
昭和39年 (1964)	学校給食開始(新北小・中学校)	東京五輪開催 東海道新幹線開業
昭和40年 (1965)	諸富町社会福祉協議会発足	
昭和45年 (1970)	寺井津漁港船渠完成	大阪万博開催
昭和54年 (1979)	諸富町役場新庁舎落成	
	第1回諸富町産業祭	
昭和62年 (1987)	国鉄佐賀線廃線	JR発足
昭和64年 (1989)	平成元年	昭和天皇崩御 平成と改元



令和3年度の主な行事予定

1	諸富町民体育大会	5月 9日(日) 未定	諸富公園	諸富町体育協会
2	もろどみ子どもフェスタ	6月12日(土) 午後	諸富町公民館	子どもフェスタ実行委員会
3	夏祭り・町民一斉ラジオ体操	7月下旬 土曜日 未定	ハートフル横広場	諸富校区子ども会
4	老人クラブ運動会	10月21日(木)	ハートフル	諸富町老人クラブ
5	秋の子どもフェスタ	10月下旬 未定	諸富町公民館	諸富校区子ども会
6	防災訓練	11月14日(日)	諸富南小学校	諸富町自主防災活動本部
7	文化祭	11月6、7日(土、日)	ハートフル	諸富地区文化連盟

昨年はコロナ禍でいろんな行事が中止となりました。今年度は新しい形でのイベント開催が模索されています。

●佐賀市社協諸富支所の廃止に伴い諸富地区社会福祉協議会設立!

～町内の社会福祉事業の推進を図ることを目的に設立～

★令和3年3月2日(火) 13:30～
佐賀市産業振興会館において設立総会が開催されました。
主な活動は
①高齢者支援
②子育て支援
③地域支援
の3支援を柱に地域福祉を充実。
自分たちの地域の福祉課題を話し合いながら取り組んでいきます。
★産業振興会館内の「ひろば」は継続となりました。



「ふれあい広場」から「もろどみ広場」へ

- 令和3年4月6日(火) 10:00 オープン
- 利用時間: 毎週火～土曜日 (但し土曜日は第2と第4) 10:00～15:00
- どんな人が利用できるの?
子育て中の親子をはじめ、どなたでも気軽に利用できる交流の広場です。常駐する人が必ず居ますので初めてでも大丈夫!!



●『もろどみ子どもフェスタ』開催

新型コロナウイルスの拡大で自粛した昨年、今年度は趣向を凝らし、新しい方法で開催予定
さあ 今年もフェスタを楽しもう!! ～希望～

今回は要望が多い「子どものブース」を企画
お花け屋敷? お花のコーナ? 新聞紙プール?
色々なブースで作って、遊んで子どもと一緒に!



中学校美術部にポスター三図案を募集依頼中

～交流を楽しみましょう、子どもは地域の宝です～

出がけましよう! 有明筑後川大橋開通

3月14日に建設中だった有明海沿岸道路大川東～大野島IC(延長3.7km)が開通しました。

筑後川をまたぐ夢の架け橋は二連で名称は「有明筑後川大橋」です。また、世界遺産三重津海軍所跡地付近に架かる(仮称)早津江川橋上部工事も完成しており、令和4年度中には大野島～(仮)諸富IC(上下地区付近)も開通予定です。橋の駅ドロンパ付近から見ると素晴らしい眺望です。皆さんも見に行かれてはどうですか?



有明筑後川大橋

早津江川橋

●地域で支え合う諸富町あんしんネットワーク会

3月18日(木)に佐賀市産業振興会館にて、下半期の各地区の活動状況を踏まえての研修会を実施しました。

諸富町あんしんネットワーク会は、一人暮らし高齢者や高齢者のみの世帯を対象に、住み慣れた地域で安心して暮らせるように見守りや訪問を行い、地域住民で高齢者を支え合う活動です。発足して5年になりました。

当日は、自治会長、民生児童委員、協力員等50名の方が参加。各地区における日頃の高齢者の見守り活動においての問題・課題について情報交換、意見交換を行い、今後の活動の参考としました。

高齢化が進む中、今後ますます支え合いのできる輪を広げ、皆が安心して暮らせる地域社会を目指すことが大切となってきています。



3月18日研修会

●〈安心部会より〉防災資材を町民の方々へ貸出しOK!!

佐賀市の助成金に採択され、写真にある5種の防災資材を整備しました。



LEDランタン(電池式)



スマートフォン用充電器(12同時使用可)



掲示板(横幅1.8m)



胴長(4着:長手袋も整備)



救命胴衣(大人・子ども用各10着)

防災資材は町内の方がたに貸し出します。お聞きになりたいことや申込みは自主防災活動本部事務局までどうぞ!! 皆さんの資材です。
また、自主防災活動本部でボランティア活動ができる人も連絡をお願いします。

担当:野口英行 TEL090-9653-7953

●小学校集団下校

災害時の集団下校訓練が北小学校では月に一度実施されています。

当日は、見守り隊の私たちも小学校校庭に集合し、子どもたちが安全に帰宅できるよう見守りながら下校します。列の先頭と最後尾は上級生が担当、下級生をリードし見守っています。先頭を行く上級生の背中とは、とても凛々しく頼もしく感じます。集団行動でのルールを学ぶ貴重な時間でもあります。

この一斉下校見守り活動は、コロナ禍で子どもたちと接する機会が激減した今、子どもたちの成長を身近に感じながら共に歩むとても楽しい時間でもあります。

